

# 原台の風

平成30年度第4号(通算284号)

—佐西学校だより—

平成30年7月17日発行

〔発行責任者〕

長崎県立佐世保西高等学校長 宅島 健司

## 挑む

校長 宅島 健司

前号で言い尽くせなかった部分がありました。まず部活動であろうが受験であろうが、相手がいるということです。相手も勝利を目指し、日々努力しています。技術力でそう差がなければ、勝利を呼び込むことはできると考えます。相性の問題もありますが、自分があるいは自分のチームがどういう特徴を持っているか、その特徴を生かせるかどうかということも考えなければなりません。受験においても、現状を把握したうえで、何が自分に足りないのか、それを埋めるためには何をどのように学習すればいいのか考え、実践しなければなりません。

選手の中には、試合に出ることを目的としたり、自分のプレイに固執し、自分がどうかということばかりに気を取られ、チームの中の自分の役割を見失っている人が少なくありません。学習も同じで、自分の学習の仕方・やり方にとらわれ、意識が学習方法の改善という方向に向かわない人も多く見られます。本当は、学習した結果、学力がつかなければ意味がないのです。

人には自己愛があります。自己愛とは「自分を愛する心」ですが、言い換えれば自尊心でありプライドです。現代文中島敦の「山月記」を学習し、「臆病な自尊心・尊大な羞恥心」等を考えたり、自分なりに理解した人は分かるのではないかと思います。自己愛にはプラス面もあるのですが、ここではマイナス面に焦点を当てます。人が人である限りはどうしても逃れることのできない本性だろうと思います。それが時折、自分を利己的にしたり自分のことしか考えられないようにします。時折ならいいですが、いつも自分のことしか考えられないのではないかと思える人も見受けられます。

できることなら意識を自分の外に移し、その視点で外から自分を見てみることです。他人の目で自分を見るといった方が分かりやすいでしょうか。それを客観視といいます。そうするとチームの中の自分やクラスの中の自分に気づくことができると思います。自分を活かす方法が見つかるかもしれません。

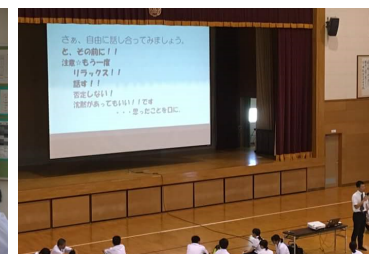
さて、部活動であれ学習であれ、自分のためにチームのために前に進むには、どうすればいいのでしょうか。現状を打破するためには、何が必要なのでしょうか。

高総体のバスケットで県のベスト4に入った時の副主将が、オフェンスで「中にカットインして切れ込め」という監督の指示に対して、「自分はできなかつた。1対1で守られ、相手にボールを奪われることが怖くてたまらなかつた。後悔したくなかつた。」と言っていました。しかし、優勝したり準優勝したりするためには、自分がリスクを背負って怖さに打ち勝ち新たなプレイに挑戦する必要があるのではないかと思います。

これまでのプレイや学習の中でやってきた方法を踏襲するだけでなく、それに磨きをかけるとともに、失敗するかもしれないけれども、新たなプレイや学習方法に挑戦することが現状の打破につながり、あなたをより前に進める方法であると考えます。

## 職業別講演会

6月9日(土)に13名のOB・OGの方に来校していただき、1年生を対象に職業別講演会を実施しました。今回、話をしていただいた講師の先生方の職業は、小学校教諭、高校教諭、医師、薬剤師、看護師、公務員、新聞記者、弁護士、会社経営者、研究技術者、銀行員と多岐にわたり、様々な話を聞くことができました。また振り返り活動として、「将来のために、今やっておくべきこと」についてグループで話し合いました。これらの活動を通して、講演の職業に対する知識を深めるだけでなく、自分の将来のことを真剣に考えることができました。社会の変化に対応していかなければいけない1年生にとって大いに参考になったようです。(1学年主任・進路指導部 佐藤孝士)



## 進学講演会

今年度は学年別にベネッセコーポレーション顧問 田川祐治先生(元長崎西高校校長)に、3回にわたり講演をしていただきました。

【3年生】高総体終了直後の6月7日(木)に、『受験に向けて 意識すべきこと やるべきこと』と題して講演していただきました。受験生としての気構え、基礎基本の重要性、受験体制の確立(意識・優先順位・想起の力)など、これまでの教職経験をふまえたアドバイスは、より具体的で身近な内容となりました。生徒の感想にもこれまでの学習姿勢に対する反省に加え、決意とやる気みなぎるものが多数見られました。田川先生のアドバイスを参考に、この夏を充実したものにしてください。

(進路指導部 西川周二)

【2年生】『夢に挑戦 志+やる気+継続』という演題で、2年生で意識しておくことを語っていただきました。他校の2年生との学習時間を比較し、自分たちがこれからどのくらい学習時間を伸ばしていかないといけないかを、感じている様子でした。また、「学力をつけるために性急に結果を求めない」という言葉があり、「地道にコツコツ結果が出るまでやる」、簡単に欠席をせず、授業を大切に、与えられた予習・課題に一所懸命に取り組むことが大事だと語っていただきました。この講話で得たものを活かし、「凡事徹底」を積み重ね、自分の夢の実現に向かって頑張りたいと思いました。

(進路指導部 竹嶋聡太)

【1年生】『佐西生としての覚悟』という演題で、これからの高校生活で意識しておくことを語っていただきました。生徒たちは生活リズムを整えることの大切さや、予習・授業・復習のサイクルの重要性を改めて実感している様子でした。また、「志望校ではなく野望校でいい」という言葉が印象的であり、1年生のうち、「目標を高くもち、絶対合格すると決心し、努力し続けることが大切」と何度も熱く語っていただき、生徒たちも進路実現に向けて、挑戦し続けよう決心しているようでした。この講話で得たものを活かし、日々の努力を積み重ねて、2年後に「野望校」が「受験校」になるよう頑張りたいと思います。

(進路指導部 竹添公彦)

**生徒総会** 5月24日(木)に生徒総会が開かれました。昨年度に引き続いて生徒会執行部や各種委員会委員長による方針演説が行われ、堂々と責任をもって話す姿からは【佐世保西高をより良い学校にしたい】という強い意志が感じられました。学校運営における努力目標や取り組みについて全校生徒に対して力強く発信できたことで、今後の学校生活に良い影響を与えることができたのではないかと思います。佐世保西高全体で、互いを高めあう雰囲気を作ってもらいたいと思います。生徒一人一人が責任をもって頑張りましょう。最後の議題では昨年度に引き続き、「西高マナーアップ3原則」の徹底を生徒会が呼びかけました。

**①できるだけ座席を譲る！②車内で大きな声で話さない！③座席は詰めて座る！**

「公共の空間にいる」ということを一人ひとりが意識し、「ひとりよがり」「自分勝手」な行動を慎みましよう。「西高生らしさ」を大切にしてください。

**生徒指導部より**

**携帯電話は保護者の責任のもと使用させてください！！**

先日、世界保健機関（WHO）はオンラインゲームやテレビゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」を新たな疾病として認定し、依存症の一つとして「国際疾病分類」の最新版に加えたと発表しました。スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、ゲーム依存が広がり、日本など世界各国で問題化していることが背景にあります。

携帯電話やスマートフォン、SNSの長時間の利用は成長段階において悪影響を及ぼします。また、本校でもSNS等が原因で友人関係にトラブルが発生しているケースが見られます。お子様の使用状況を確認して、「家庭でのルール」を作るようにお願いします。

**佐世保西高等学校 第1回オープンスクールについて**

中学生とその保護者を対象に、下記の要領で「オープンスクール」を開催いたします。近隣にお住まいの方で、西高受検を検討されている方にぜひご紹介ください。なお、各中学校には案内しており、中学校を通じてお申し添えいただくことになっていることを申し添えます。

(教務主任 宮地和則)

**第1回オープンスクール 模擬授業あり！ 部活動見学あり！ 質問コーナーあり！**

8月7日(火)

[受付] 8:45～ [説明会等] 9:30～12:00

[場所] 佐世保西高等学校体育館アリーナおよび教室など

[内容] ・歓迎アトラクション(吹奏楽部) ・学校説明 ・在校生からのメッセージ  
 ・学校紹介ビデオ放映・模擬授業(この間保護者だけの受検説明会) ・部活動自由見学  
 ・何でも相談コーナー・施設案内 (※予定であり、今後変更となる可能性もあります。)

《7月の主な行事予定》

20	(金)	授業中断日 大掃除
21	(日)	夏季講座(2、3年) チーム東大合宿(～22日) 吹奏楽コンクール(～22日)
27	(火)	平戸学習合宿(1年、～28日) 夏季講座(2、3年)
29	(日)	平戸学習合宿(3年、～8/4)

**部活動等結果報告**

◎陸上部

第73回国民体育大会強化選手指定書 陸上競技少年男子の部 小鳥居 勇太

第54回国見台陸上競技選手権大会

共通女子 走高跳 第1位 記録1m59 稲田 沙紀

共通男子 走高跳 第2位 記録1m92 小鳥居 勇太

2018年度 長崎県陸上競技選手権大会

男子走高跳 第3位 記録1m85 小鳥居 勇太

女子走高跳 第2位 記録1m58 萩山 由衣

記録1m58 稲田 沙紀

女子400mH 第3位 記録1分08秒07 古市 涼

平成30年度全九州高等学校体育大会秩父宮賜杯第71回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

男子三段跳 休坂 竜太郎 第3位 (インターハイ出場)

◎女子卓球部 第39回佐世保学生卓球選手権大会 女子シングルス準優勝 東 真央

◎放送部

第65回NHK杯全国高等学校コンテスト長崎県北地区大会

アナウンス部門: 優秀賞(県大会出場) 堰川 杏奈、岡 祐里

朗読部門: 優秀賞(県大会出場) 平田 静花

◎美術部

第51回佐世保市民展 洋画部門

佐世保市長賞 古瀬 ひまり、 会長賞 諫山 みのり

奨励賞 田浦 果林 入選 清水 綾華、小畑 香菜子

第70回長崎県高等学校総合体育大会ポスター図案の部 優良賞 諫山 みのり

◎写真部 第51回記念佐世保市民展 写真部門 奨励賞 里浦 水紀

第2回全九州高等学校総合文化祭鹿児島大会九州高等学校文化連盟賞 黒木 文登

◎書道部 第51回佐世保市民展 書部門 教育委員会賞 浦川 優香

第43回長崎県書道展 優秀団体賞

秀作 喜多 あやめ、浦川 優香

入選 森下 綺音、 山下 栄理

第2回全九州高等学校総合文化祭鹿児島大会参加 山下栄理、安富妃佐実

◎その他

第70回長崎県高等学校総合体育大会 大会スローガンの部 優秀賞 松尾 凧紗

第43回長崎県書道展 入選 喜多 ももか

## 公開授業研究会・講演会

本校は、今年「平成30年度 次代を担う高校生の資質・能力を育成する指導改善プロジェクト」の県による研究指定を受け、授業改善や探求学習についての研究に、全校を挙げて取り組んでいます。その第1回の職員研修・授業研究会を他の高校や中学校の先生方にも公開する形で、6月19日（火）午後から行いました。

6時間目の1年3組「国語総合」を研究授業として体育館で実施し、その授業についての授業研究を外部の先生方を含め、本校の全職員で行いました。授業研究の後には、長崎大学教職大学院准教授藤井佑介先生から指導助言を頂き、さらに、OECD日本イノベーション教育ネットワーク事務局長・東京大学公共政策大学院客員研究員・岡山大学学長特別補佐である小村俊平氏に、「生徒の資質・能力を引き出すこれからの学びとは何か？ 2030年に向けた世界の教育の潮流をふまえて」と題して講演をして頂きました。



生徒たちは、体育館で授業を行うことも初めての経験であり、また、大勢の先生方の前で授業を受けるという緊張する中ではありましたが、普段とおり、活発な意見交換を行ったり、臆することなく人前で発表したりしました。大学入学共通テストの初年度を受験することになる学年であり、日頃から主体的で対話的な取り組みを促していますが、その片鱗を見せてくれたと思っています。

大学入試も変革のときを迎え、2030年問題、2050年問題が叫ばれる今日、22世紀を生きる可能性のある生徒のみなさんに、還元できるものを増やしていくためにも教職員も常に学び続けていきたいと考えています。（研修部主任・授業改善プロジェクトチーム 峯 悦子）

## 外務省「高校講座」

6月21日（木）、外務省より林田卓さんをお迎えし「高校生のための外交講座～現場からの視点～」という演題で講演会が開催されました。林田さんは本校の卒業生（31回生）で、現在外務省の北米局北米第一課に所属し国際的に活躍されています。講演会では、外務省での経験談など日頃聞きすることのない貴重なお話を聞くことができ、また「広い視野を持って物事を多面的に考えること」「点と点が将来つなぐと信じ、何事にも貪欲に取り組むこと」など今後国際社会の一員を担う私たちにとって具体的なアドバイスをいただきました。

また放課後には希望者を対象に林田氏を囲んでの座談会「ワールドカフェ」が開かれました。国旗クイズや自己紹介で互いに打ち解けあった後、講演会を聞いて今後どうしていきたいか、学年の壁を越えて自由に意見を交わしました。林田さんも生徒と一緒にひとつのテーブルを囲み、とても楽しんでいただけたようでした。生徒にとっては今後の進路選択や将来の仕事について、とても参考になったようです。

（教務部国際教育担当・英語科 古賀野 薫）

